

マップあいち（特定都市河川流域図）と新川・境川流域総合治水対策協議会ウェブサイトの確認方法

（都市洪水想定区域と都市浸水想定区域の確認方法）

<マップあいちで区域への該当有無を確認する>

①サイトにアクセスする

URL : <https://maps.pref.aichi.jp>

②開いたページのイラスト中、「くらし・安全」のアイコンをクリックする。

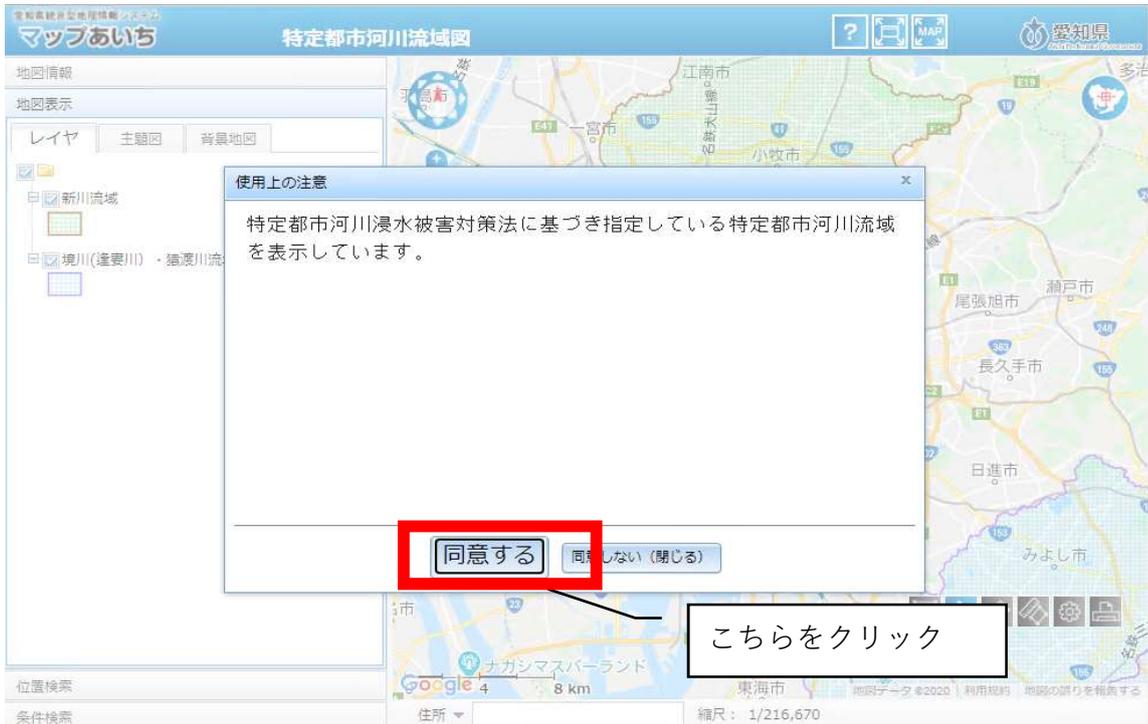


下図のような画面にスライドしたら、「特定都市河川流域図」を選択する





③マップ用に新しいウィンドウが開く



(使用上の注意ウィンドウが消える)

④自施設の所在地を表示する





(市区町村から番地・号まで順に選択していく)

マップあいち 特定都市河川流域図

所在地

所在地に該当するものを順にクリック

住所から 目録物から

市区町村 大字 小字 番地 号

あ 愛西市 愛知郡東郷町 海部郡大治町
海部郡蟹江町 海部郡飛鳥村 あま市 安城市
二宮市 稲沢市 犬山市 岩倉市 大府市
岡崎市 尾張旭市

か 春日井市 刈谷市 瀧郷市
北設楽郡設楽町 北設楽郡東栄町
北設楽郡豊根村 北名古屋市 清須市 江南市
小牧市

さ 新城市 瀬戸市

た 高浜市 田原市 知多郡阿久比町
知多郡武豊町 知多郡東浦町 知多郡南知多町
知多郡美浜町 知多市 知立市 津島市
東海市 常滑市 豊明市 豊川市 豊田市
豊橋市

な 長久手市 名古屋市熱田区 名古屋市北区
名古屋市昭和区 名古屋市千種区
名古屋市天白区 名古屋市中川区
名古屋市中区 名古屋市中村区 名古屋市西区
名古屋市東区 名古屋市瑞穂区 名古屋市緑区
名古屋市港区 名古屋市南区 名古屋市東区
名古屋市守山区 西尾市 西春日井郡豊山町
小湊市 島田郡十門町 島田郡社務町

条件検索

住所 ▼

縮尺: 1/216,670



(指定した位置に地図がスライドする)

マップあいち 特定都市河川流域図

住所から 目録物から

市区町村 大字 小字 番地 号

1	2	3	4	5	6	7	8	9	11
12	13	14	15	20	21	22			
23	24	25	26	27	28	29			
30	31	32	33	34	35	36			
37	38	39	40	41	42	43			
44	45	46	47	48	49	50			
51	52	53	54	55	56	57			
58	59	60	61	62	63	64			
65	66	67	68	69	70	71			
72	73	74	75	76	77	78			
79	80	81	82	83	84	85			
86	87	88	89	90	91	92			
93	94	95	96	97	98	99			
100	101	102	103	104					
105	106	107	108	109					
110	111	112	113	114					
115	116	117	118	119					
120	121	122	123	124					
125	126	127	128	129					
130	131	132	133	134					
135	136	137	139	140					
141	142	143	151	158					

↓

(適宜、縮尺を拡大する)

こちらのプラスマイナスボタンで調整する。(マウスのホイールで拡大・縮小すると位置がずれるので注意)

↓

施設所在地が緑色または青色の網掛けエリアに入っていれば、「都市洪水想定区域」または「都市浸水想定区域」に該当することとなるので、次の手順で浸水深を確認する。

<治水対策協議会のページから浸水深を確認する>

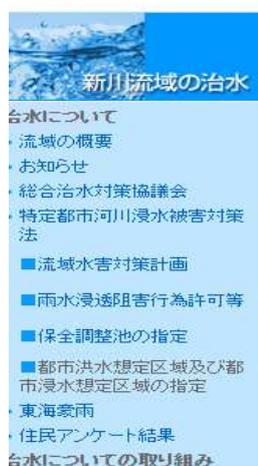
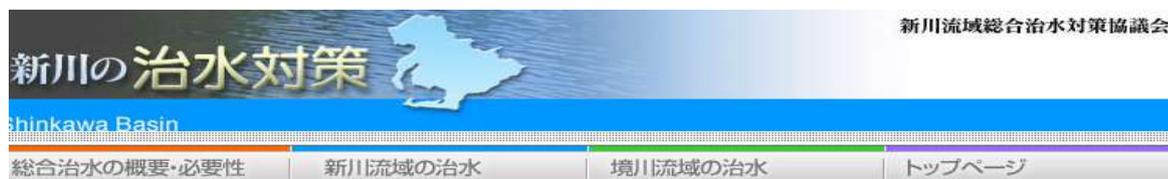
新川流域総合治水対策協議会

サイトにアクセスする

URL:<http://www.sougo-chisui.jp/shinkawa/toshi.html>

↓

(下記画面が表示される)



特定都市河川浸水被害対策法に基づく浸水想定について (都市洪水想定区域と都市浸水想定区域の指定)

● 浸水被害の形態

浸水被害は、その原因から次の2種類に分けられます。

- **外水被害**…堤防が切れたり、川から水が溢れたりなど、川の水が原因で発生する浸水被害
- **内水被害**…川が満杯で地区内の水が引け排水できなかったり、排水路の整備が不十分で、川に入るまでに生じる浸水被害

※ 実際の洪水では、外水被害と内水被害が同時に生じたり、明確に区別をすることが出来ない場合もあります。

● 浸水被害を表した図面

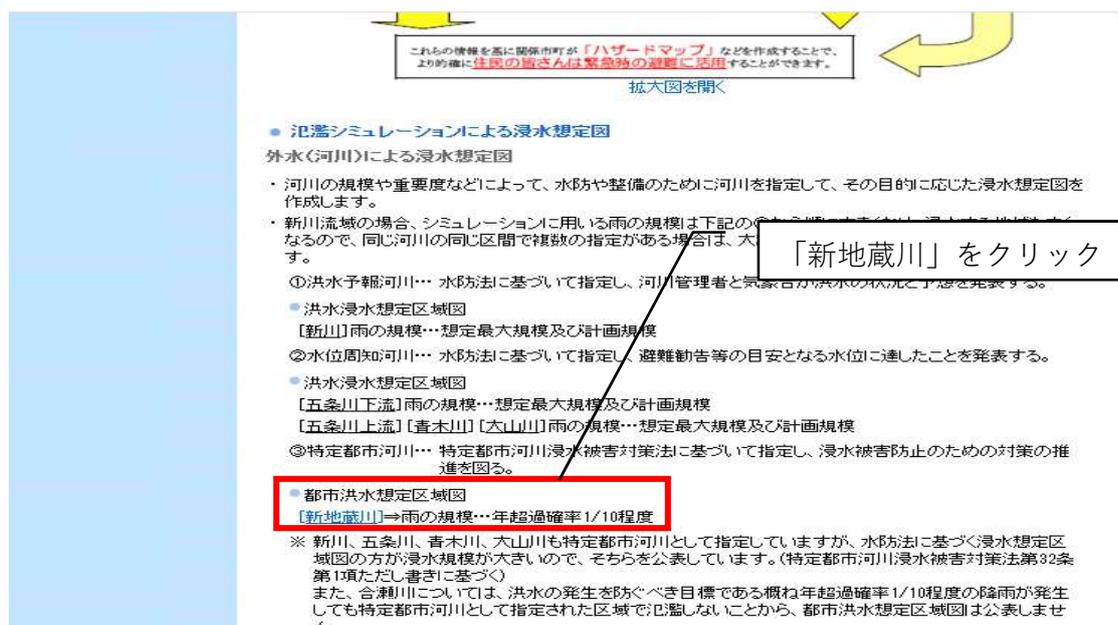
- ・ **浸水実績図**…過去に発生した大きな洪水を対象として、浸水した地域や浸水深を現地調査の結果などから地図に表したもの
- ・ **洪水浸水想定区域図**…地形や排水路などをモデル化してコンピュータに組み込み、雨の規模など様々な条件を定めて計算を行い、浸水すると想定した箇所や水深を地図に表したもの

● 被害を軽減するために…洪水ハザードマップ

浸水の恐れがある地域(浸水実績や浸水想定図を参考に決めます)や避難所の情報などを入れた図面のことを洪水ハザードマップと言い、万が一、浸水が生じた場合でも、被害を最小限に抑え、安全に避難が出来るよう市民の皆さんに活用していただくために市町村で作成します。

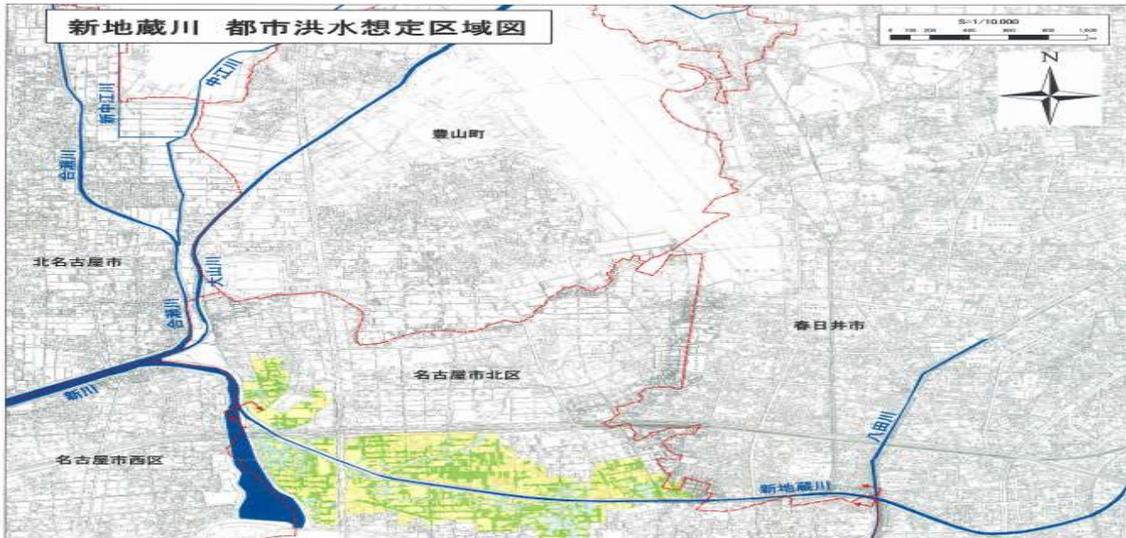
↓

下へスクロールし、「氾濫シミュレーションによる浸水想定図」の「都市洪水想定区域図」の下にある「新地蔵川」をクリックする。



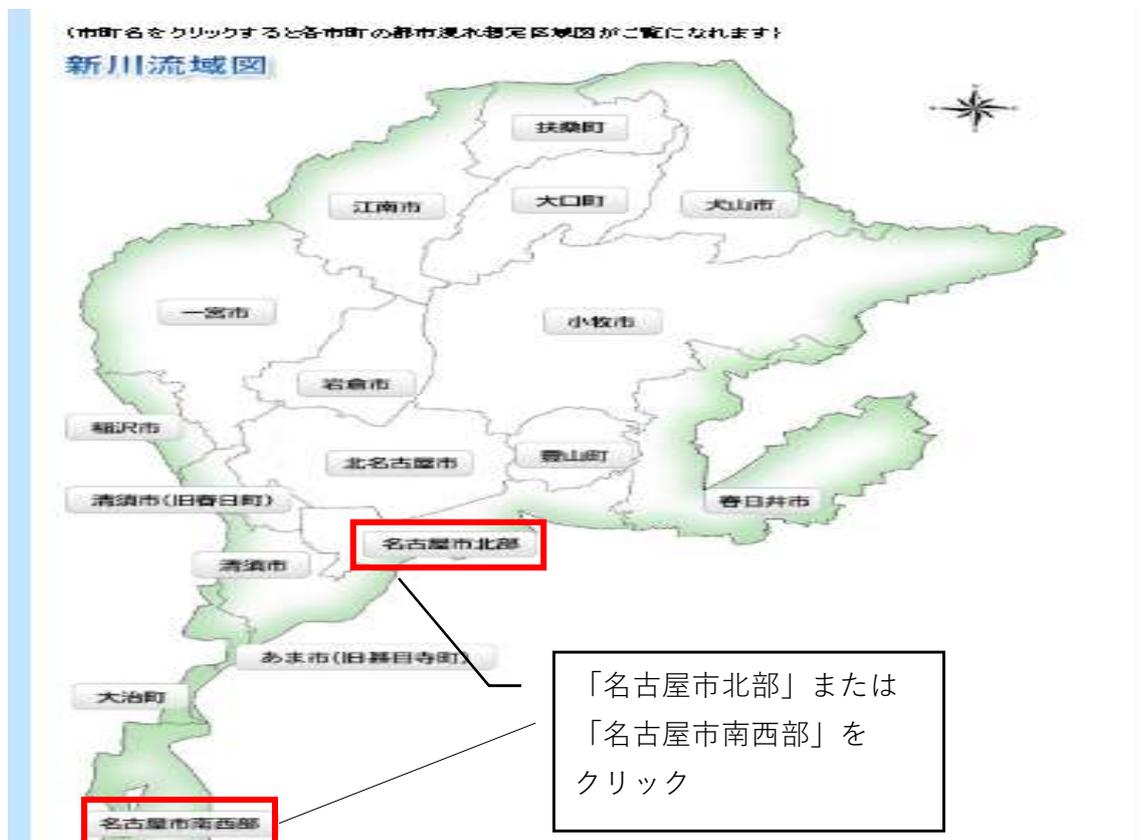
↓

PDFで地図が表示されるので、色のあるところは凡例と見比べて想定浸水深を確認する。想定浸水深が判明したら、協議申込書の様式中、「都市洪水想定区域」に○をつけ、浸水深の欄に記入する。自施設所在地に色がない場合や地図上に所在地がない場合は新川流域に関する都市洪水想定区域には非該当となる。（非該当の場合も、都市洪水想定区域の確認のため次の手順に進む。）



↓

ひとつ前のページに戻り、さらに下へスクロールする。「新川流域図」中、「名古屋市北部」または「名古屋市南部」をクリックする。





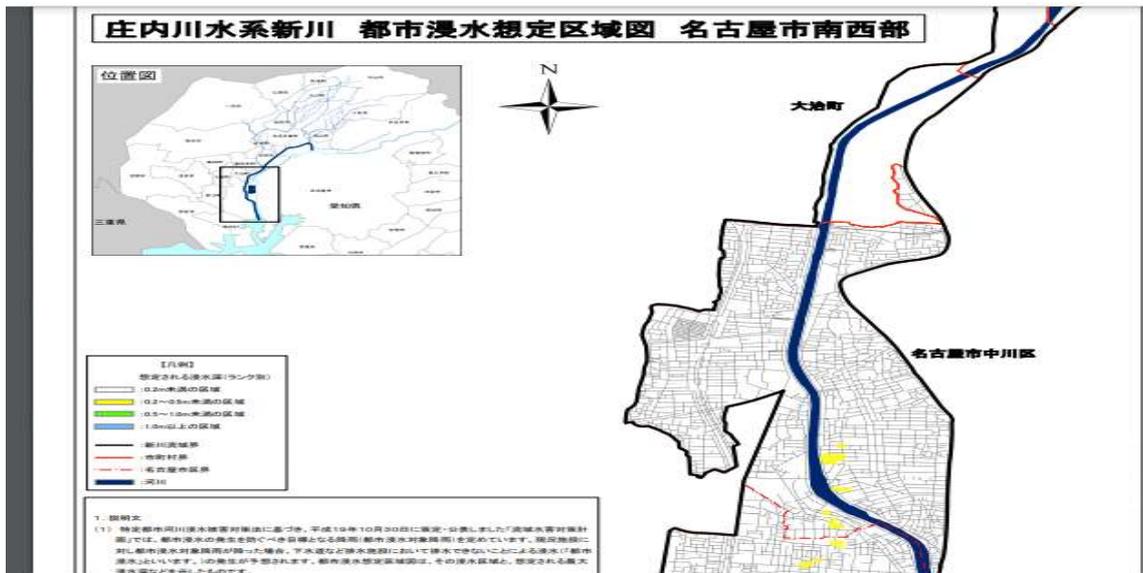
(PDFで地図が表示される)

<名古屋市北部>



黒線または赤線で囲まれ道路の網目のあるところが都市浸水想定区域の該当エリアとなり、想定浸水深は全て0.2m未満となるため、協議申込書の様式中、「都市浸水想定区域」に○をつけ、その下の「最大浸水深」には0.2mと記入する。

<名古屋市南西部>



黒線または赤線で囲まれ道路の網目のあるところが都市浸水想定区域の該当エリアとなり、想定浸水深は凡例を見て確認する。該当する場合は協議申込書の様式中、「都市浸水想定区域」に○をつけ、その下の「最大浸水深」に想定浸水深を記入する。

境川流域総合治水対策協議会

サイトにアクセスする

URL:<http://www.sougo-chisui.jp/sakaigawa/toshi.html>



(下記画面が表示される)

境川流域総合治水対策協議会

境川の治水対策

Sakaiigawa Basin

総合治水の概要・必要性 | 新川流域の治水 | 境川流域の治水 | トップページ

境川流域の治水

治水について

- ▶ 流域の概要
- ▶ お知らせ
- ▶ 総合治水対策協議会
- ▶ 特定都市河川浸水被害対策法

- 流域水害対策計画とは
- 流域水害対策計画について
- 雨水浸透阻害行為許可等

特定都市河川浸水被害対策法に基づく浸水想定について (都市洪水想定区域と都市浸水想定区域の指定)

- 都市浸水想定区域とは

境川・猿渡川流域水害対策計画において定められた浸水の発生を防ぐべき目標となる降雨(年超過確率1/5~1/10)が生じた場合に浸水が想定される区域を都市浸水想定区域とします。円滑かつ迅速な避難の確保と被害の軽減を図ることを目的に区域を指定しています。

- 都市浸水想定区域図について

都市浸水想定区域図とは、浸水について想定される区域と水深などを示したものです。この都市浸水想定区域図は、平成21年3月時点の区域内地域の下水道管渠、雨水ポンプ施設等の整備状況などを勘案して、区域内において浸水の発生を防ぐべき目標となる降雨(年超過確率1/5~1/10)が降ったことにより、浸水が発生した場合に想定される状況をシミュレーションにより求めたものです。*このシミュレーションの実施に当たっては、想定した降雨を超える降雨が降った場合や、境川を始めとする流域内河川が破堤または溢した場合は都市洪水等は考慮していませんので、この都市浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



下へスクロールし、「都市浸水想定区域図」の地図上の「名古屋市」をクリックする。

指定の前提となる計画降雨 図に記載のとおり

都市浸水想定区域図

各市町の都市浸水想定区域図がご覧いただけます。

「名古屋市」をクリック



(PDFで地図が表示される)



黒線または赤線で囲まれ道路の網目のあるところが都市浸水想定区域の該当エリアとなり、想定浸水深は全て0.2m未満となるため、協議申込書の様式中、「都市浸水想定区域」に○をつけ、その下の「最大浸水深」には0.2mと記入する。

※境川流域には「都市洪水想定区域」の設定はなし。

※新川流域、境川流域ともに、上記の地図以上の想定浸水深に関する情報が所管課にもないとのこと。判別が難しく恐れ入りますが、上記の地図と通常の地図を見比べて浸水深を判別していただきますようお願いいたします。